

二十三

其文ヲ讀マス讀メテモ亦分ラヌシテ遠ゾノ見解ヲ
下スハ少年輩ノ毎々免カレサル所ナリ之ハ國會論
タカラ國會論ト言ナリ請フ其謂レヲ聞ケ國會ハ何
ト何トノ事ナルヤ請願狀將ク建白狀曰ク請願ト建
白ノ外又別ニ種々ノ事ヲ為スモノアリ何ゾヤ曰國
會ヲ憂懷スルモノアリ口泡ハ飛ハシテ請願書ノ却
下ヲ憤リ額筋ヲ出シテ建白書ノ拒ヲ怨ミ明治政府
ハ澤庵ナリ澤庵政府ヲ按腹ヒスンハ按摩ハ何ニ賴
テ其自尽氣休テ働ク事ヲ得ンヤト忽チ比馬拉山大
ノ理屈ヲ擔キ出シ又候太政官門前ト元老院閣邊ノ
馬子突委員兼大總ノ邸宅ニ捺テ込ミ委員ヲ出シ思
入レ政府ヲ叩キツレテモ聞カサレハ私志國會ヲオ
ツ立ル振ト云モノ是ナリ曰ク國會ニ狼狽スルモノ

アリ之ヲ受理スルト云々又受理セスト云ヒ請願書
ノ性質ヲ以テ受理ルト云ヒ左様ハ云ハスト云ヒ古
ヲ十枚ニモ百枚ニモ使ヒ只取次々々ト計リテ伺書
ヲ以テ差出セハソシテ面倒臭イ事ハ法律カナイ勝
手ニシヤカレト云フ内閣書記官是ナリ曰ク國會ヲ
現弄スル者アリ氏權家ヲ以テ蟬トナシ稚子トナシ
喃々喧々トシテ總ノ聲ニ吠ハ升クノ圖ヲ作り國會
ヲ海扇トナシテ賣捌所出見世ノ画ノ書キ或ハ國會
ノ二字ヲ丸メテ画直シ新題ヲ作り以テ石燈籠ヲ寫
シ火ノ見様ヲ畫キ猫ノ首トナシ三味線ノ胴トナシ
若クハ鯨ト雄犬ノ戦争歴史派ト才負ケニ長々書立
テル所圓々珍聞道楽業談ノ如キ滑稽中間是ナリ曰
ク國會ヲ立テハキモノカハカラサルモノカトモ何

此思ハス者アリ有志者力微文ヲ馳セテ同者ヲ募集
スレハ其後ニ戸長幾カラ回ル所ノ回状ヲ見テモソ
レ國會カ来タ々々ト民権ニモ平ニ官壓ニモ拜々
シリ蓋ソ泥坊ニモ平ニ拜々トシテ其金錢衣類ヲ差
上サレヤ曰ク金錢衣類ト泥坊トハ形有物ナリ自由
權利ト政府ノ權力トハ無形物ナリ彼等豈ニ無形物
ヲ看ルノ眼アラシヤ末タ深ク咎ムルニ足ラサルナ
リ嗚呼世ノ中ノ國會論モ亦面黒狸ノ腹太鼓ナラス
ヤ諸ノ其餘ヲ問ハン曰ク残りハ色々アリト雖モ多
クハ國會ヲ非トスル所ノ屁理屈ハ我々筆ニスルヲ
嫌フヲ猶冀ヲ措ニスルヲ忘ムト一般而モ憂憤狼狽
玩弄ノ如キ或ハ何々モ分カヌ考ノ如キハ一轄スレ
ハ大ニ望ム所アル者ナリ夫レ然リ之ヲ云フニ天理

ヲ以テシ之ヲ行フニ臨義ヲ以テシ勢ヲ制シテ其機
ニ投スルモノ果シテ何物カ諸ノ尋常一斤ノ惡クマ
レ口視セスシテ活眼以テ注視スル所アラシ

栃木縣へ照會

本月八日奎克栃木新聞第百八十号雜錄欄内ニ掲出
セル國會論ト題スル件ハ謗謗律ニ據リ相當ノ處分
可相成モノト認候ニ付其筋ハ告訴ノ儀御取計可有
之此旨及御照會候也 十三年十月十六日

内務省八回卷 内閣書記官

栃木新聞第百八十号雜錄欄内國會論ト題スル件ニ
付御照會ノ趣致承知候右ハ一見ノ上處分方ノ儀其
筋ハ申入置候此旨及御答候也 十三年十月十四日

追テ別紙及御返却候也

栃木縣回答 内閣書記官

本月八日 發兌 栃木新聞第百八十号 雜錄欄内ニ掲載
セル國會論ノ件ニ付 御照會ノ旨 致義了 候此段 及御
答候也 十三年十月十五日

栃木縣申牒 内閣書記官宛

當縣下 栃木新聞第百八十号 雜錄欄内ニ國會論ト題
スル一篇ヲ 掲出スルハ 謗謔律ニ據リ 相當ノ處分云
々 御照會ニ付 其筋ハ 告訴ノ上 水戸裁判所 栃木支廳
ニ於テ 別紙ノ 通處利相成候 条宣告書 相添此段申進
候也 十三年十月廿七日

栃木縣

下野國下都賀郡片柳湊町

寄留

福島縣

磐城國字多郡中野村士族

盛信弟 栃木新聞

前編輯人

田代 為信

二十五年七月

其方儀 栃木新聞第百七十九号 紙上ハ 集會條例ノ 頒
布ハ 言論交通ノ 自由ヲ 剝奪シ云々ト 掲載シテ 成法
ヲ 誹毀シ 或ハ 同新聞第百八十号 紙上ハ 栃木縣警察
官ノ 職務ニ 關シ 謗毀スル 事項ヲ 掲ケ 又ハ 同新聞第
百八十号 紙上ハ 地方ノ 裁判官ハ 新聞條例ヲ 知ラ
サル 乎何ノ 其處分ノ 甚タ 怪ナルヤト 題シタル 一篇
ヲ 登録シ 當廳裁判官ノ 職務ニ 關シ 謗毀スル 右二罪

大正政類

ノ内一二從ヒ 謗謔律第四條ニ照シ禁獄二月罰金六拾圓申付ル

栃木縣

下野國下都賀郡栃木旭町

寄留同國上郡賀郡鹿沼宿

上杉木町士族

小室 重弘

二十一年五月

其方儀據本新聞第百八十壹号紙上ハ地方ノ裁判官ハ新聞條例ヲ知ラサル乎何ソ其處カノ甚ク怪ナルヤト題シタル一篇ヲ論述シ當廳裁判官ノ職務ニ関シ謗毀スル科謗謔律第四條ニ照シ禁獄二月罰金六拾圓可申付處新聞條例第七條ニ依リ田代為信ノ從

ヲ以テ論シ本刑ヲ輕減シ禁獄五十日罰金五拾圓申付ル

明治十三年十月廿六日 判事 田中貞靖

栃木縣

下野國下都賀郡片柳湊町

寄留

福島縣

磐城國字多郡中野村士族

盛信弟 栃木新聞

前編輯人

田代 為信

二十五年七月

其方儀據本新聞第百八十号紙上ニ國會論ト題シ内

閣書記官ノ職務ニ関スル事項ヲ謗毀セシ一篇ヲ掲
載公布スル科謗謗律第四條ニ依リ禁獄二月罰金六
拾圓可申付處先ニ謗謗律第四條ニ依リ同一ノ刑ヲ
言渡シタルニ因リ二罪俱發例ニ照シ更ニ其罪ヲ論
セム

栃木縣

下野國下都賀郡栃木旭町

寄留同國上都賀郡鹿沼宿

上村木町士族

小室重弘

二十一年五月

其方儀栃木新聞第百八十号紙上ニ其別号ヲ用ニ國
會論ト題スル一編ヲ論述シ内閣書記官ノ職務ニ関

スル事項ヲ謗毀スル科謗謗律第四條ニ依リ禁獄二
月罰金六拾圓新聞條例第七條ニ照シ田代爲信ノ後
ト爲シテ論シ本刑ヲ輕減シ禁獄五十日罰金五拾圓
可申付處先ニ謗謗律第四條ニ依リ同一ノ刑ヲ言渡
シタルニ因リ二罪俱發例ニ照シ更ニ其罪ヲ論セス
右中渡畢

明治十三年十月廿六日

判事田中貞靖